

6 本時 3組 (11/14)

(1) 本時の目標

「スーホの白い馬」を読んで、強く心が動かされた文や場面とその理由を伝え合い、人によって様々な感じ方があることに気付くことができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のねらいをつかみ、学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習内容を掲示しておき、単元全体を振り返る。</li> <li>・それぞれが決めた言語活動を確認し、相手意識・目的意識をもつことができるようにする。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     強く心がうごかされた文や場めんと、そのわけをつたえ合おう。                 </div>		
	2 全文と、自分が前時に書いた強く心を動かされた文や場面とその理由を読む。		
展開	3 強く心を動かされた文や場面とその理由を読み合い、「同じところ」や「なるほど、そんな感じ方もあるのだ」というところを伝える。 (尊)(表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感想と比べて「同じところ」に青シール(タブレットの場合は青線)、「なるほどというところ」に赤シール(タブレットの場合は赤線)を付けるようにする。</li> <li>・視覚的に、様々な感じ方があることに気付けるようにする。</li> </ul>	◇友達との感想の交流を通し、人によって様々な感じ方があることに気付いている。(発言・ワークシート)
	4 全体で強く心を動かされた文や場面とその理由を共有する。 (尊)(表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を通して、みんなに共感してもらったという自信をもって発表できるように</li> </ul>	

		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示した挿絵の下に感想を書いていき、いろいろな場面に対し、様々な感想が出ていることが確かめられるようにする。</li> <li>・初発の感想を掲示しておき、変化に気付くことができるようにする。</li> </ul>	
まとめ	5 本時の振り返りと次時の活動の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との交流を通して、人によって感じ方が違うことに気づき、違いを肯定的に受け止められるようにする。</li> </ul>	

### (3) 板書計画

<p>◎つたえ合って 気づいたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのかんじ方とはちがうところがあったけど、なるほどと思った。</li> </ul>	<p><b>挿絵</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心をゆりうごかすほどの馬頭きんの音色を聞いてみたい。</li> </ul>	<p><b>挿絵</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白馬がしんだのが、かなしい。</li> <li>・しにそうでもかえってきた白馬は本当にスーホがすきだったのだな。</li> </ul>	<p><b>挿絵</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とのさまはひどい。</li> <li>・スーホが「馬を売りに来たのではありません。」とのさまに言ったのは、ゆうきがある。</li> </ul>	<p><b>挿絵</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白馬がいのちがけてスーホのひつじをまもったのがすごい。</li> </ul>	<p>スーホの白い馬 めあて</p> <p>心に強くのこった文や場めんをえらび、えらんだわけをつたえ合おう。</p>
---	--	--	--	---	--